

CarSensor

カーセンサーエッジ

クルマにこそ
大人の我儘を

8

2017 AUG.
¥514

別冊付録

How to Love
Ferrari

Ferrari

フェラーリの
愛し方

年代、エンジン問わずに付き合う

RECRUIT



この本は
リサイクルできます

Which do you choose?

Minicar 編

あなたはどちらを選びますか？

そのストーリーを知ること、その歴史を知ること、そこにモノ選びの神髄があります

エ
ッ
ジ
な
J
A
P
A
N
I

M
A
D
E



AZDA GOODS
COLLECTION

1/43 MAZDA CX-3

1/43 マツダ CX-3

マツダエースのモデルカーは入手するには基本的に成約プレゼントしかない。ただし一部ディーラーで購入できる場合もある(右ページ上URL先参照)。写真は以前200台限定で販売されたCX-3の2015用品装着モデル。前後ボディの一部をハンドメイドで切削し、純正エアロパーツを装着している。タイヤの外側への張り出しや車高、ルーフ上のアンテナ位置の調整、ヘッドアップディスプレイの大きさにまでこだわられている



ディーラーで新車を購入するとプレゼントされるミニカーを、モデルカーと呼び愛車の精緻な分身として製造しているのがマツダのグループ会社マツダエースだ。実車の開発データを基に開発されるのはもちろん、車種・販売店によっては成約車と同じボディカラーや登録ナンバーを取り付けることもある。

もちろん実車の開発データで起こしても、1/43スケールになるとデザイナーの意図したスタイリングの再現は難しい。そのため1/43サイズを見るユーザーの視線や角度などを意識してプレスラインを補正したり、時には0.1mm単位で厚みを調整するために、プレス治具を改良して原料を見直し、結局試作品を50個以上作ったこともあった。また「ソウルレッドクリスタルメタリック」などの実車用塗料は1/43では粒子が大きいため使えない。そのため粒子の細かい塗料で、いわば1/43サイズ用のソウルレッドクリスタルメタリックを再開発した。

すべてはオーナーが家の中でも外でもお気に入りのクルマを眺められるように。マツダのモノづくり魂はグループ会社マツダエースでもしっかりと継承されている。👉

CX-5 (左) は前後方向に延びる造形と映り込みの美しさを再現するため、塗膜から逆算してプレスラインを作り込んだ。ロードスター (中央) はヘッドレストのBOSE製スピーカーやシート中央のステッチなどインテリアも作り込まれている。コンセプトカー「靱 (SHINARI)」のモデルカー (右) は、1/43にするとパーツがあまりに小さくなり、組み付けが極めて困難だったが、デザインテーマである緊張感や美しさを丁寧に再現したという

